

日本と世界の文化・情報

【1】靴を脱ぐ習慣

- 日本では、靴を脱いで家に入ります。玄関の構造は、欧米の家とはちがって、靴をぬぐスペースを設けており、段差があります。L13のSHORT DIALOGUESの3.にある「どうぞ おあがりください」という表現も、ここから来ていることを紹介します。
- 最近の日本の家には、たいてい玄関にスリッパが用意されていて、お客さんがはきかえられるようになっています。欧米式のじゅうたんやフローリングの床の部屋には、スリッパで入り、伝統的な畳の部屋では、さらにスリッパを脱ぐという生活習慣を、日本の家屋の写真やVTRを参照しながら、紹介します。
- また、お手洗いにはお手洗い専用のスリッパを置く家庭も多く見られ、ここでは、通常部屋でなくスリッパからお手洗い専用のスリッパにはきかえます。

【2】先輩と後輩

- 日本の社会には、先輩と後輩という文化がありますが、社会人だけではなく、これは学校文化のなかでも同様です。クラブ活動などでは、先輩が後輩を指導したり面倒を見たりし、後輩は先輩を見習っていきます。
- SHORT DIALOGUESの2. では、バード君が柔道部の先輩と会話をしています。川田先輩は15歳、バード君は13歳と、2歳ちがいますが、先輩、後輩の間柄は、ことばにも反映され、先輩は後輩に対して informal speech で、後輩は先輩に対して formal speech で話しています。